

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

DATA in 九州

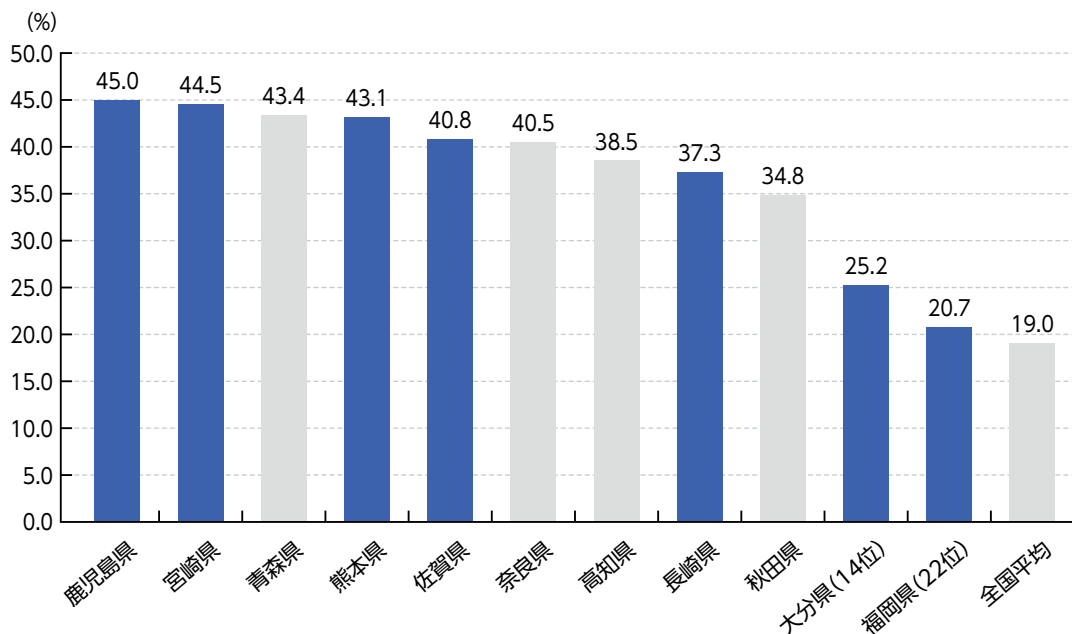
今月の注目データ

高卒就職者の県外就職率

人口減少が今後も予想される現代社会において、九州では他の地域以上に少子高齢化が進んでいます。

全国の高卒就職者の県外就職率を見てみると、鹿児島県(45・0%)をトップに、宮崎県(44・5%)、熊本県(43・1%)、佐賀県(40・8%)が40%を超えるなど、九州の全県が全国平均(19・0%)を超え、若い労働人口が他県へ流出していることがわかります。

高度人材を含めた労働人口の大都市圏への集中化は、全国の地方社会が抱える共通課題となっていますが、特に九州の地方都市においては喫緊の課題であることが見て取れます。少子高齢化が進む中で経済が持続的な発展を遂げるためには、労働力の確保とイノベーションによる生産性の向上が不可欠であることを考えると、将来的には地域間の人材獲得競争がさらに強まる可能性もあります。そうした中、産学官の連携等を通じて、優秀な人材を地元企業が確保できるような取り組みを進めていくことが、今後の九州経済の発展と雇用拡大には重要であると考えられます。



出所：文部科学省「平成28年度高等学校卒業者の就職状況(平成29年3月末現在)に関する調査」を基にFFGビジネスコンサルティング作成